

石川県公報

令和4年7月6日(水曜日)

号 外

(第67号)

目 次

- 公 告
- 石川県港湾土地造成事業の業務状況の公表(港湾課) 1
- 石川県流域下水道事業の業務状況の公表(都市計画課) 3
- 石川県水道用水供給事業の業務状況の公表(水道企業課) 7

公 告

石川県港湾土地造成事業の業務状況の公表

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第40条の2第1項の規定により、石川県港湾土地造成事業の令和3年10月1日から令和4年3月31日まで(以下「下半期」という。)の業務の状況を次のとおり公表する。

令和4年7月6日

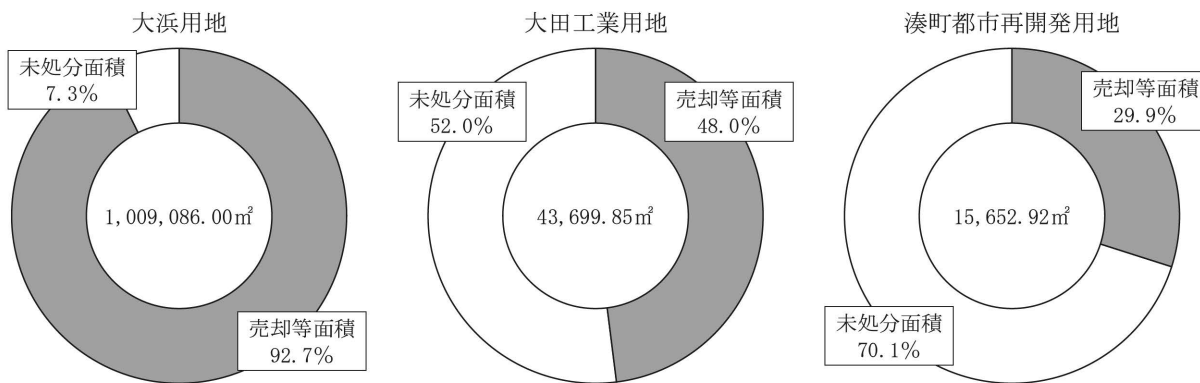
石川県知事 馳 浩

1 事業の概要

港湾土地造成事業は、港湾において臨海部の土地造成を行い、港湾関連企業を誘致することにより、石川県の産業経済の発展に寄与することを目的に設置しており、現在は、保有用地の売却と貸付けを行っています。

今後とも、関係機関との連携を密にしながら、港湾関連企業用地やふ頭、道路等の公共施設用地として、引き続き売却予定資産の早期売却に努めるとともに、保有用地の民間企業等への貸付けを行い、有効活用にも努めていきます。

● 用地の保有状況



用地名	造成面積	売却等面積	未処分面積
大浜用地	1,009,086.00	934,966.40	74,119.60
大田工業用地	43,699.85	20,996.87	22,702.98
湊町都市再開発用地	15,652.92	4,677.04	10,975.88
計	1,068,438.77	960,640.31	107,798.46

(注) 用地の保有状況は、令和4年3月31日現在です。

● 過去5年間の収益的収支決算

(単位：百万円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込)
港湾土地造成事業収益	9	18	4	3	3
港湾土地造成事業費用	19	29	2	3	5
収 支 差	△ 9	△ 11	1	0	△ 2

(注) 端数処理により、合計額が一致しない場合があります。

2 下半期における経営の状況

下半期は、保有用地の民間企業等への貸付けを行い、有効利用に努めました。

下半期における予算の執行状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	科 目	予 算 額 A	下 半 期 執 行 額	累 計 B	執 行 率 B/A
収 入	港湾土地造成事業収益	2,796	1,363	2,795	100.0%
	営 業 収 益	0	0	0	—
	営 業 外 収 益	2,796	1,363	2,795	100.0%
支 出	港湾土地造成事業費用	5,299	4,776	4,814	90.8%
	営 業 費 用	5,289	4,776	4,814	91.0%
	営 業 外 費 用	10	0	0	0.0%

収入は、土地貸付料、預金利息です。

支出は、一般管理費の資産減耗費、委託料、印刷製本費です。

(2) 資本的収入及び支出

該当なし

3 資産、負債及び企業債の状況

下半期における資産、負債及び企業債の増減は、次のとおりです。

(1) 資 産

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
事 業 資 産	1,366,588	1,366,588	0	3,775	1,362,813
未 成 土 地	1,366,588	1,366,588	0	3,775	1,362,813
流 動 資 産	107,582	108,975	2,790	2,428	109,337
計	1,474,170	1,475,563	2,790	6,203	1,472,150

事業資産の減少額は、資産減耗費です。

流動資産の増減額は、預金及び未収金です。

(2) 負 債

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
流 動 資 産	10,000	10,000	0	0	10,000
計	10,000	10,000	0	0	10,000

うち企業債

該当なし

4 令和4年度当初予算の概要及び事業の経営方針

(1) 予算の概要

ア 収益的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	科 目	予 定 額
収 入	港湾土地造成事業収益	12,777
	営 業 収 益	10,000
	営 業 外 収 益	2,777
支 出	港湾土地造成事業費用	9,631
	営 業 費 用	9,621
	営 業 外 費 用	10

イ 資本的収入及び支出

該当なし

(2) 令和4年度事業の経営方針

ア 土地売却

区 分	地 区 名	売却面積
予定量	大 田 工 業 用 地	1,000m ²

イ 土地貸付

区 分	地 区 名	貸付面積
予定量	大 浜 用 地	49m ²
	大 田 工 業 用 地	1,563m ²
	湊町都市再開発用地	3,684m ²

石川県流域下水道事業の業務状況の公表

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、石川県流域下水道事業の令和3年10月1日から令和4年3月31日まで（以下「下半期」という。）の業務の状況を次のとおり公表する。

令和4年7月6日

石川県知事 馳 浩

1 事業の概要

昭和58年度より流域下水道事業に着手し、現在、犀川左岸流域下水道（犀川左岸処理区）、加賀沿岸流域下水道（梯川処理区）及び加賀沿岸流域下水道（大聖寺川処理区）で事業を実施しています。

このうち、梯川処理区は平成元年4月に、犀川左岸処理区は平成6年12月、大聖寺川処理区は平成7年12月に供用開始しています。

● 事業の概要

区 分	加賀沿岸流域下水道 (梯川処理区)	加賀沿岸流域下水道 (大聖寺川処理区)	犀川左岸流域下水道 (犀川左岸処理区)
着 手 年 度	昭和58年度	昭和63年度	昭和62年度
供用開始年月	平成元年4月	平成7年12月	平成6年12月
管 渠 延 長	34km	17km	23km
処 理 場	翠ヶ丘浄化センター	大聖寺川浄化センター	犀川左岸浄化センター
ポ ン プ 場	6ヶ所	2ヶ所	—
水 処 理 方 式	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法
汚泥処理方式	濃縮→消化→脱水→乾燥	濃縮→消化→脱水	濃縮→消化→脱水
処 理 能 力	43,000m ³ /日	18,400m ³ /日	50,300m ³ /日
関 係 市	小松市、能美市、白山市	加賀市	金沢市、白山市、野々市市

(注) 管渠延長及び処理能力は、令和4年4月1日現在です。

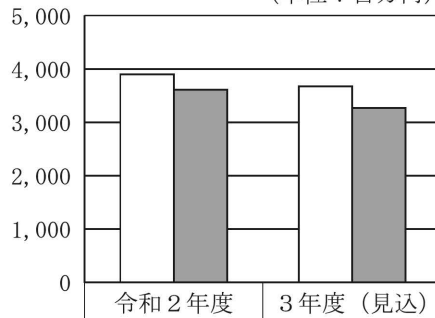
● 年度別処理水量

(単位：m³)

年度	加賀沿岸流域下水道 (梯川処理区)	加賀沿岸流域下水道 (大聖寺川処理区)	犀川左岸流域下水道 (犀川左岸処理区)	合 計
平成29	8,743,672	3,062,741	14,057,719	25,864,132
平成30	8,625,251	3,036,834	13,815,834	25,477,919
令和元	8,347,112	2,916,874	13,580,720	24,844,706
令和2	8,916,161	2,999,691	14,345,165	26,261,017
令和3	9,044,677	3,005,174	14,368,315	26,418,166

● 過去2箇年の収益的収支決算

(単位：百万円)



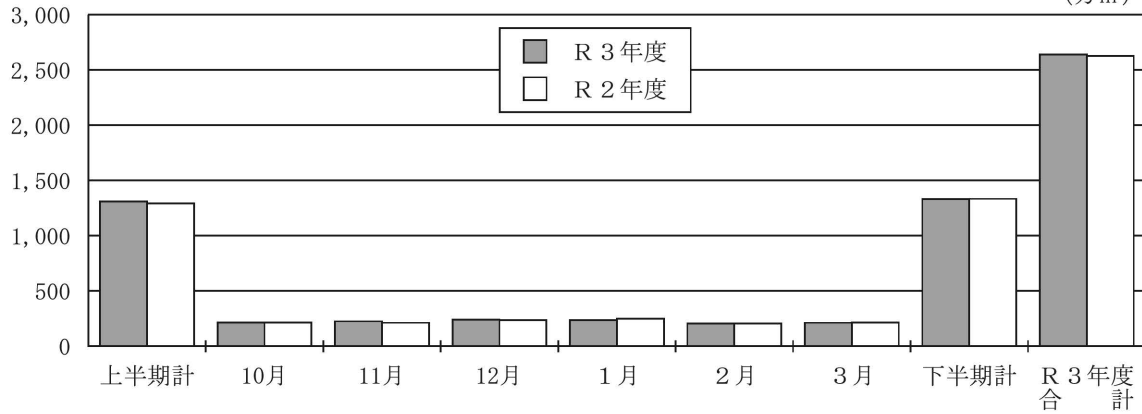
流域下水道事業収益	3,899	3,672
流域下水道事業費用	3,610	3,270
収 支 差	289	402

2 下半期における業務状況

下半期における実績処理水量は、1,332万立方メートルとなりました。

実績処理水量(下半期)

(万m³)



(単位：m³)

区 分	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合 計
R3年度	13,097,118	2,137,925	2,249,795	2,407,367	2,348,867	2,059,410	2,117,684	13,321,048	26,418,166
R2年度	12,924,957	2,148,360	2,120,633	2,362,077	2,491,467	2,060,573	2,152,950	13,336,060	26,261,017

3 下半期における予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	科 目	予 算 額 A	下 半 期 執 行 額	累 計 B	執 行 率 B/A
収 入	流域下水道事業収益	3,850,506	2,736,692	3,842,382	99.8%
	営 業 収 益	1,729,451	864,727	1,729,454	100.0%
	営 業 外 収 益	2,121,055	1,871,965	2,112,928	99.6%

支 出	流域下水道事業費用	3,471,368	2,741,097	3,411,252	98.3%
	営 業 費 用	3,314,556	2,633,001	3,255,464	98.2%
	営 業 外 費 用	156,812	108,096	155,788	99.3%

収入の主なものは、関係市からの維持管理負担金です。

支出の主なものは、指定管理委託料や減価償却費です。

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	科 目	予 算 額 A	下 半 期 執 行 額	累 計 B	執 行 率 B/A
収 入	資 本 的 収 入	(1,440,359)	(1,440,359)	(1,440,359)	(100.0%)
		736,629	291,587	291,587	39.6%
	企 業 債	(252,000)	(252,000)	(252,000)	(100.0%)
		150,000	63,000	63,000	42.0%
	国 庫 補 助 金	(937,717)	(937,717)	(937,717)	(100.0%)
	449,750	175,809	175,809	39.1%	
	建 設 負 担 金	(250,642)	(250,642)	(250,642)	(100.0%)
		134,679	51,192	51,192	38.0%
	他 会 計 補 助 金	2,200	1,586	1,586	72.1%
支 出	資 本 的 支 出	(1,440,359)	(1,433,244)	(1,440,359)	(100.0%)
		1,354,005	597,209	904,710	66.8%
	建 設 改 良 費	(1,440,359)	(1,433,244)	(1,440,359)	(100.0%)
	760,915	298,262	311,621	41.0%	
	企 業 債 償 還 金	593,090	298,947	593,089	100.0%

() は、令和2年度からの繰越予算に係るもので、外教です。

収入の主なものは、国交付金、関係市からの建設負担金及び令和2年度及び令和3年度同意(許可)債の受入れです。

支出の主なものは、設備の更新費及び企業債の元金償還分です。

4 資産、負債及び企業債の状況

下半期における資産、負債及び企業債の増減は、次のとおりです。

(1) 資 産

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
固 定 資 産	45,779,078	45,796,724	1,582,904	2,004,549	45,375,079
流 動 資 産	1,734,464	717,971	4,395,747	3,250,818	1,862,900
計	47,513,542	46,514,695	5,978,651	5,255,367	47,237,979

固定資産の増加額は、設備の更新費に係るものです。

固定資産の減少額の主なものは、減価償却による資産減耗分です。

流動資産の増減額の主なものは、預金、未収金及び前払金です。

(2) 負 債

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
固 定 負 債	6,097,793	6,097,793	318,285	560,714	5,855,364
流 動 負 債	1,885,865	481,782	2,482,167	1,178,567	1,785,382
繰 延 収 益	31,784,815	31,784,815	1,395,740	1,730,222	31,450,333
計	39,768,473	38,364,390	4,196,192	3,469,503	39,091,079

固定負債の増加額の主なものは、企業債の借入によるものです。

固定負債の減少額の主なものは、令和4年度償還予定企業債を流動負債に振り替えたものです。

流動負債の増加額の主なものは、未払金です。

流動負債の減少額の主なものは、企業債の定期償還分及び未払金です。

うち企業債

(単位：千円)

借入先	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
財 務 省	2,638,760	2,489,371	63,000	151,314	2,401,057
地方公共団体金融機構	3,682,464	3,546,335	93,000	137,888	3,501,447
北 國 銀 行	280,125	271,500	0	9,745	261,755
はくさん信用金庫	0	0	159,000	0	159,000
計	6,601,349	6,307,206	315,000	298,947	6,323,259

増加額は、令和2年度及び令和3年度同意(許可)債受入分です。

減少額は、定期償還分です。

5 令和4年度当初予算の概要及び事業の経営方針

(1) 予算の概要

ア 収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 定 額	科 目	予 定 額
流域下水道事業収益	3,721,394	流域下水道事業費用	3,398,841
営業収益	1,761,436	営業費用	3,245,705
営業外収益	1,959,958	営業外費用	153,136

イ 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 定 額	科 目	予 定 額
資本的収入	1,365,000	資本的支出	1,927,201
企業債	303,000	建設改良費	1,368,541
国庫補助金	820,000	企業債償還金	558,660
建設負担金	240,000		
他会計補助金	2,000		

金額は、消費税及び地方消費税を含んだ額となっています。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額562,201千円は、過年度分損益勘定留保資金120,240千円、当年度分損益勘定留保資金114,522千円、減債積立金301,948千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額25,491千円で補てんするものとします。

(2) 令和4年度事業の経営方針

ア 流域関連市

金沢市ほか5市

イ 一日平均処理水量

86,241立方メートル

ウ 年間総処理水量

31,478,000立方メートル

エ 維持管理負担金単価

加賀沿岸流域下水道(梯川処理区) 57.1円(1立方メートル当たり)

加賀沿岸流域下水道(大聖寺川処理区) 91.0円(1立方メートル当たり)

犀川左岸流域下水道 45.0円(1立方メートル当たり)

石川県水道用水供給事業の業務状況の公表

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、石川県水道用水供給事業の令和3年10月1日から令和4年3月31日まで（以下「下半期」という。）の業務の状況を次のとおり公表する。

令和4年7月6日

石川県知事 馳 浩

1 事業の概要

水道用水供給事業は、手取川ダムに一日最大440,000立方メートルの給水が可能な水源を確保するとともに、現在、一日最大244,000立方メートルを給水することができる施設を持ち、加賀市から七尾市に至る9市4町を対象に水道用水を供給しています。

また、県民生活の安全・安心を確保するため、送水管の二系統化事業を推進しています。

今後とも、さらなる諸経費の節減や、二系統化事業の効率的な実施など、経営の健全化に努力していきたいと考えています。

● 事業の概要

項 目	内 容	項 目	内 容
事 業 名	手取川広域水道建設事業	給 水 区 域 (9市4町)	金沢市、七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、津幡町、内灘町、宝達志水町及び中能登町
水 源	手取川水系手取川ダム		
取 水 地 点	白山市中島町地内		
浄 水 地 点	白山市白山町地内		
給水開始年月日	昭和55年7月1日	事 業 年 度	昭和48年度～
給 水 能 力 (1日当たり)	【440,000m ³ 】 244,000m ³		

(注) 【 】は、事業の最終目標計画水量です。

● 主な施設

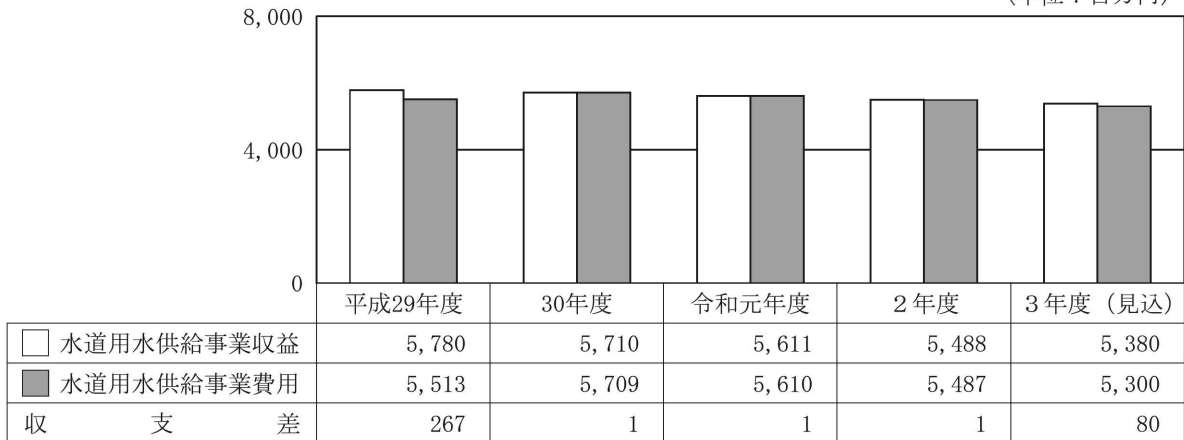
施設区分	構 造 形 式 等
貯水施設	手取川ダム (ロックフィルダム)
取水施設	取水口 沈砂池 取水ポンプ850kW 4台
導水施設	管路延長1,081m 調圧水槽
浄水施設	着水井 薬品沈でん池 急速ろ過池 管理本館ほか
送水施設	延長192km 調整池3池 水管橋38橋 ポンプ場1ヶ所

● 年度別給水量

年度	給 水 量 (m ³)
平成29	53,899,692
30	53,538,500
令和元	53,509,255
2	53,557,665
3	53,481,129

● 過去5箇年の収益的収支決算

(単位：百万円)

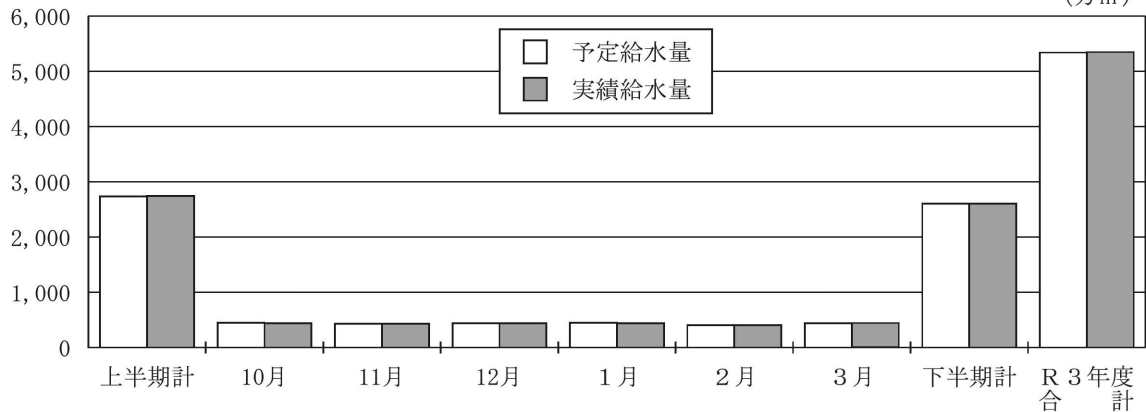


2 下半期における業務状況

給水状況は、予定給水量2,606万立方メートルに対し、実績給水量は、2,602万立方メートルと99.8パーセントの達成率となりました。

今後とも、受水市町の協力を得て安定した給水を行いたいと考えています。

給水量の状況(下半期)

(万m³)(単位：m³)

区分	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計
予定給水量	27,338,806	4,456,946	4,315,250	4,420,606	4,453,042	4,020,896	4,399,794	26,066,534	53,405,340
実績給水量	27,457,732	4,411,738	4,330,447	4,416,176	4,398,480	4,019,637	4,446,919	26,023,397	53,481,129
達成率	100.4%	99.0%	100.4%	99.9%	98.8%	100.0%	101.1%	99.8%	100.1%

3 下半期における予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

区分	科目	予算額 A	下半期執行額	累計 B	執行率 B/A
収入	水道用水供給事業収益	5,952,152	2,914,723	5,910,014	99.3%
	営業収益	5,871,013	2,833,679	5,825,346	99.2%
	営業外収益	81,139	81,044	84,668	104.3%
支出	水道用水供給事業費用	5,706,325	5,101,016	5,582,787	97.8%
	営業費用	5,646,997	5,061,330	5,524,485	97.8%
	営業外費用	59,328	39,686	58,302	98.3%

収入の主なものは、給水料金です。

支出の主なものは、人件費、動力費、修繕費、委託料、減価償却費及び企業債支払利息です。

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

区分	科目	予算額 A	下半期執行額	累計 B	執行率 B/A
収入	資本的収入	(611,000)	(611,000)	(611,000)	(100.0%)
	企業債	2,020,000	522,000	522,000	25.8%
支出	資本的支出	(831,000)	(831,000)	(831,000)	(100.0%)
	建設改良費	6,588,022	3,481,825	5,088,871	77.2%
	企業債償還金	(831,000)	(831,000)	(831,000)	(100.0%)
	他会計借入金償還金	3,349,654	1,849,088	1,850,504	55.2%
	企業債償還金	3,213,368	1,607,737	3,213,367	100.0%
	他会計借入金償還金	25,000	25,000	25,000	100.0%

() は、令和2年度からの繰越予算(送水施設建設改良事業費)に係るもので、外数です。

収入は、令和2年度及び令和3年度同意(許可)債の受入れです。

支出の主なものは、送水施設建設改良事業費及び企業債に係る3月定期償還分です。

4 資産、負債及び企業債の状況

下半期における資産、負債及び企業債の増減は、次のとおりです。

(1) 資 産

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
固 定 資 産	43,888,552	43,889,838	4,295,987	3,959,391	44,226,434
水道用水供給事業固定資産	42,312,286	42,313,572	3,011,462	2,099,848	43,225,186
固定資産仮勘定	1,576,266	1,576,266	1,284,525	1,859,543	1,001,248
流 動 資 産	8,250,741	7,718,996	7,831,407	8,558,424	6,991,979
計	52,139,293	51,608,834	12,127,394	12,517,815	51,218,413

固定資産の増加額の主なものは、送水管の二系統化事業等による建設改良費です。

固定資産の減少額の主なものは、減価償却による資産減耗分です。

流動資産の増減額の主なものは、預金及び未収金です。

(2) 負 債

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
固 定 負 債	29,243,049	29,243,049	1,173,365	2,923,215	27,493,199
流 動 負 債	4,788,938	1,994,970	8,926,253	5,302,394	5,618,829
繰 延 収 益	844,675	844,675	63,363	144,336	763,703
計	34,876,663	32,082,694	10,162,982	8,369,945	33,875,731

固定負債の増加額の主なものは、企業債の借入によるものです。

固定負債の減少額の主なものは、令和4年度償還予定企業債を流動負債に振り替えたものです。

流動負債の増加額の主なものは、未払金、未払費用及び企業債の令和4年度償還予定額です。

流動負債の減少額の主なものは、企業債の償還によるものです。

うち企業債

(単位：千円)

借 入 先	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
財 務 省	26,063,534	24,574,407	611,000	1,489,774	23,695,633
地方公共団体金融機構	1,311,407	1,194,903	0	117,963	1,076,941
はくさん信用金庫	0	0	522,000	0	522,000
計	27,374,941	25,769,310	1,133,000	1,607,737	25,294,574

増加額は、令和2年度及び令和3年度同意(許可)債受入分です。

減少額は、3月定期償還分です。

5 令和4年度当初予算の概要及び事業の経営方針

(1) 予算の概要

ア 収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 定 額	科 目	予 定 額
水道用水供給事業収益	5,896,081	水道用水供給事業費用	5,637,715
営 業 収 益	5,855,947	営 業 費 用	5,595,207
(うち給水収益)	5,815,841)	営 業 外 費 用	42,508
営 業 外 収 益	40,134		

イ 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 定 額	科 目	予 定 額
資 本 的 収 入	2,020,000	資 本 的 支 出	5,338,288
企 業 債	2,020,000	建 設 改 良 費	2,238,417
		企 業 債 償 還 金	3,087,871
		他 会 計 借 入 金 償 還 金	12,000

金額は、消費税及び地方消費税を含んだ額となっています。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3,318,288千円は、過年度分損益勘定留保資金3,060,251千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額258,037千円で補てんするものとします。

(2) 令和4年度事業の経営方針

ア 給水対象市町

七尾市以南の9市4町

イ 一日最大給水量

243,860立方メートル

ウ 年間有収水量

53,405,340立方メートル

エ 給水単価

99円(1立方メートル当たり)